

2019年7月11日(木) 第13号

共同研究推進委員会通信

発行：教育学部共同研究推進委員会/共同研究推進委員長

令和元年度 第1回ずみ！ネット連携推進会議を開催

2019年7月1日に宮古島市立教育研究所にて、令和元年度第1回ずみ！ネット連携推進会議が開催されました。当会議では、宮古島市教育委員会の事業方針について審議し、その成果を管理・運営しながら教育現場への還元と充実を目的に宮古島市が抱える教育課題について様々な情報交換が行われました。

宮古島市では本学の「アドバイザースタッフ派遣事業」を積極的に活用していただき、本年度も4月からこれらを活用した取組がスタートしており、年間延べ18回のアドバイザースタッフ活用の計画がなされております。その内容は、長期研究員への指導助言、幼児教育についての研修会、適応指導教室の研修会、学級経営の在り方、部活動指導者への研修会など多岐にわたります。

このように多くの事業を展開する上で、沖縄本島から教育学部の先生方を宮古島市へ招聘するためには、他の地域と比べ多くの予算が必要となりますが、宮古島市では今後も安定した予算を確保していくことが推進会議において確認がされました。また、これまで宮古島市が特に課題としていた「幼児教育」について、昨年度、岡花祈一郎先生とのヒアリングを経て、今年度から取組が開始します。短期、中期、長期的な成果

を見極めながら、幼児教育における理解共有の場として、そして、教師の資質向上につながることを期待しています。一方、宮古島市では学力問題や学校経営に留まらず、運動部活動の指導者向けの研修会も企画しております。近年、クラブ活動の指導指針が提示される中、教師や外部指導者が実際に指導するうえで重要となる科学的根拠に基づいた活動理解の促進が目的となります。

本会議で議論された内容を確実に具現化するために今後も教育学部との連携をさらに推進し、引き続きアドバイザースタッフ派遣事業の積極的な活用をしていきたいとして、閉会されました。

教育学部の先生方にはこれからも多くのご支援を賜るかと思いますが、引き続きご指導よろしく申し上げます。

(文責：砂川力也)

